

令和2年度 第3回沖縄県がん診療連携協議会 離島・へき地部会 議事要旨

日 時：令和2年12月8日（火） 15：00～16：20

場 所：ZOOM を利用した Web 開催

構 成 員：13名

出 席 者：10名

松村敏信（宮古病院）、我如古春美（北部地区医師会病院）、朝倉義崇（中部病院）、戸板孝文（中部病院）、友利寛文（那覇市立病院）、中山幸子（宮古病院）、真栄里隆代（ゆうかぎの会）、平良美江（八重山病院）、田盛亜紀子（やいまゆんたく会）、増田昌人（琉球大学病院がんセンター）

欠 席：3名

尾崎信弘（八重山病院）、赤松道成（北部地区医師会病院）、仲里可奈理（沖縄県保健医療部健康長寿課）

陪 席 者：1名

野底尚子（琉球大学病院がんセンター）

【報告事項】

1. 令和2年度 第2回離島・へき地部会議事要旨について

増田委員より、資料1に基づき令和2年度第2回離島・へき地部会議事要旨について説明があった。変更等があれば事務局まで連絡するよう説明があった。

2. その他

特になし。

【協議事項】

1. 離島・へき地部会のロジックモデルについて

増田委員より資料2に基づき離島・へき地部会のロジックモデルについて説明があった。中間アウトカムと分野アウトカムの項目については、協議の結果原案通り承認された。戸板委員より、離島・へき地では放射線治療は行えないので、施策1に「放射線治療を除く」という文言を入れてはどうかとの意見があり、全員一致で文言を入れることが決まった。施策7に関して朝倉委員より、離島から来る患者さんは本島に家族や親族がいる人が多く、その家族の家から近い病院に通う傾向があるので、宿泊施設を1ヶ所つくるよりも本島内での交通費を補助してもらうのはどうか、との意見があった。田盛委員より施策7は削除し、施策6の文言の一部を「がん治療のための渡航費や交通費及び宿泊費を助成する」と修正してはどうかと提案があった。真栄里委員より、がん治療の後に「検査」も追加してはどうかとの意見があり、増田委員より「治療」を「診療」にかえたらどちらの意味も含まれるのではとの提案があった。細かい文言は事務局で整え、施策が決定したら部会で細かいところを一つ一つ整理する必要があると説明があった。

2. 離島・へき地から本島内の放射線治療施設への紹介手順等について

戸板委員より資料3-1に基づき放射線治療の施設一覧に特記事項として補足説明を追加したことが報告された。増田委員より、先日の協議会で資料3-2のチェックリストを緩和目的のものと根治を目指すものの2種類に分けてはどうかとの意見が出たと説明した。戸板委員より、細かくなると使いにくいので、まずは全部をカバーするもので運用してみて、足りない項目等の意見が出てきたら見直しと改訂をしていくのはどうかと提案があった。真栄里委員よりチェックリストに患者名が入っていないとの指摘があり、事務局で患者氏名欄を追加し、整えたあと、来年1月の幹事会に提出することが決まった。

3. 次回の開催日程について

松村副部長より、議事次第のとおり説明があった。

4. その他

特になし。